



不適応行動への非嫌悪的な支援方略を導き出すことが目的のシートです



1. このシートで大切にしていることは？

自閉症スペクトラムへのABA入門
シーラ・リッチマン/井上雅彦（東京書籍）

- 注意するだけでは、不適応行動を止めるだけで、望ましい行動をつくり出すわけではありません
- 子どもの欲求（物が欲しい、先生に見てほしいetc）をもっと適切な形で表現する方法を子どもに教えます
- 子どもが望ましい行動を学んで、その行動を褒められ、認められることで、その行動が増えていきます



2. 先生が減らしたいと思っている行動を選ぶ際のガイドライン

- その行動は本人にとって害があるものか（自傷）
- その行動は他人にとって害があるものか（攻撃）
- その行動は学習を妨げるものか
- その行動は社会へのかかわりを制限するものであるか

自閉症スペクトラムへのABA入門
シーラ・リッチマン/井上雅彦（東京書籍）



3. この項目を確認することで、支援の改善のヒントがあるかもしれません

- その行動を誘発させる環境は取り除かれていますか？
- 刺激が入りにくい環境ですか？
- 分かりやすい指示をしていますか？
- スケジュールを示していますか？（スケジュールが必要な場合）
- どこまでやったら「終わり」か、を示していますか？
- 課題などの「やり方」は、分かっているようですか？
- 課題など、お子さんの実態に合っていますか？
- 初めての課題では、エラーレス学習を心がけていますか？

初めは強いヒントを出して
確実にできるように
少しずつヒントを減らしていきます
「できた感」を大切に…

失敗を子どものせいにする前に
指導方法の適切さを吟味するべきである

自閉症児の教育マニュアル：決定版ロヴァス法による行動分析治療
イヴァ・ロヴァス著/中野良顯訳（ダイヤモンド社）



今、できていて当然だと思われることも、
褒めたり、がんばりを認めましょう！



やっぱり減らしたい行動でした、「3」は心がけていますが…支援方略が思い浮かばない
次のページへ





4. 対象のお子さんの、どんな行動に、先生が困っていますか？

対象となる行動の明確化



5. お子さんの周囲の環境のアセスメント

5-1. 場所に関係していますか？（その行動が起こりやすい場所）

5-2. どのような場面で起こりやすいですか？

5-3. どんな時間に起こりやすいですか？

5-4. 先生はどんなかかわりをしていますか？
そのかかわりは、その行動に影響していると思われませんか？

5-5. クラスの友だちなどのかかわりは影響していると思われませんか？

5-6. 物理的な環境（教室環境など）は関係していると思われませんか？（音なども含む）



6. お子さんについてのアセスメント

お子さんの内面を想像する

6-1. 課題に対して飽きているということは考えられますか？（課題に対する飽和）

6-2. 課題に対して負担はあるようですか？（課題遂行に要する負担）

6-3. 身体的な疲労や生理的な要因などは関係していそうですか？

6-4. 対象のお子さんは、なぜそのような行動をしていると思われますか？（機能分析）

要求 ・ 逃避や回避 ・ 自己（感覚）刺激 ・ 注目

要求…何かほしいものがありそうだ
逃避…課題などを回避したいのかも
自己刺激…なにか、好きな感覚を楽しんでいるのかも
注目…先生の気をひいたり、かかわりを楽しんでいるのかも



複数
ある場合も

6-5. なぜ、その機能だと思いましたか？具体的なエピソードなどがあれば…



どう
ですかね？

→推測が難しい場合には… MAS（問題行動動機付け尺度）
（MASの出典）
東京学芸大学 特別支援科学講座 小笠原研究室
<http://www.kei-ogasahara.com/>

推測が難しい場合には、
周囲の先生にも
意見を聞いてみましょう！

ワークシート① MAS (MAS Definition Assessment Scale)

氏名: _____ 性別: _____

お子さんの _____ という行動についてお答え下さい。一つの行動に1枚ずつ記入ください。
各質問の回答する質問IDも記入して下さい。

質問ID 質問内容

1. この行動は、お子さんが何かの目的を達成しようとしているのか？

2. この行動は、お子さんが嫌いなことを避けるために行っているのか？

3. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

4. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

5. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

6. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

7. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

8. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

9. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

10. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

11. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

12. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

13. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

14. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

15. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

16. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

17. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

18. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

19. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

20. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

21. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

22. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

23. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

24. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

25. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

26. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

27. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

28. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

29. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

30. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

31. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

32. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

33. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

34. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

35. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

36. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

37. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

38. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

39. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

40. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

41. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

42. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

43. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

44. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

45. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

46. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

47. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

48. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

49. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

50. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

51. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

52. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

53. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

54. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

55. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

56. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

57. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

58. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

59. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

60. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

61. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

62. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

63. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

64. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

65. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

66. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

67. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

68. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

69. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

70. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

71. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

72. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

73. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

74. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

75. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

76. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

77. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

78. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

79. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

80. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

81. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

82. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

83. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

84. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

85. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

86. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

87. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

88. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

89. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

90. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

91. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

92. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

93. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

94. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

95. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

96. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

97. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

98. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

99. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

100. この行動は、お子さんが嫌いな状況から逃げようとしているのか？

合計 = _____

平均値 = _____

標準偏差 = _____



次のページにも参考例やヒントがあります



【正の社会的強化】 <注目・要求>

- ・「社会的」と呼ばれるものは、行動の結果が他者によってもたらされる場合
- ・肯定的な注目（賞賛）も否定的な注目（叱責）も正の強化になりうる。
- ・問題行動を起こすことによって、正の強化子（注目や事物）が与えられていることが多い。

【負の社会的強化】 <回避・逃避>

- ・ある行動が負の強化を受けていると言われるのは、その行動が生じた結果、環境内にある何かを取り除かれたり終結し、そのことによってその行動のその後の生起頻度が高まる場合である。
- ・「負」というのは、行動が減ることを意味しているわけではない。その人にとっての望ましくないもの、不快なもの。
- ・主なものは、課題や作業、あるいは他者の関わりからの逃避や回避である。

【正の自動強化】 <自己刺激>

- ・行動の結果は他者によってもたらされるのではなく、行動の結果として自動的に生じるのがその特徴。
- ・身体を前後に揺するロッキングや、手をパタパタさせるフラッピングなどの多くは、筋肉感覚刺激や視覚刺激などを自動的に生じさせることから、正の自動強化を受けていることが多い。

【負の自動強化】

- ・強化子は行動の結果自動的にもたらされる。
- ・ある行動によって身体的な痛みや不快感が緩和される場合がこれに当てはまる。
- ・かゆみ、歯の痛み、便秘による違和感の軽減などがある。

問題行動の機能について仮説を導き出す（情報提供者によるアセスメント）

ヒントになる質問項目例と関連する機能

1. 好きな遊び道具がほしいために、その問題行動を起こしているようですか？【正の社会的強化（事物の獲得）】
2. 作業のときに、その問題行動を起こすことが多いですか？【負の社会的強化（作業からの逃避）】
3. 一人にされたとき、その問題行動を起こすことが多いですか？【正の自動強化】
4. 周囲の人から注目されるために、その問題行動を起こしているようですか？【正の社会的強化（注目）】
5. 最近ずっと体調が悪いようですか？【負の自動強化（医学的条件）】
6. 周囲に刺激になるようなものが少ないですか？【正の自動強化】

自閉症スペクトラムへのABA入門
シーラ・リッチマン/井上雅彦（東京書籍）



つば吐き

同じ行動でも機能が違う！…子どもの内面を想像してみましょう

【注目】

- ・先生は反応しない。
- ・もっと適切な注目を得る方法を考える →「こっちきて」「せんせい」などの呼びかけスキル

【逃避/回避】

- ・課題中は反応しない。
- ・「教えて」「ヒントちょうだい」「休憩にして」などの言葉を教えたり、身振りサイン、シンボルへの指差し

【自己刺激】

- ・暇をもてあますときに多く観察されるはず
- ・つば吐きに代わる遊びを積極的に教える
- ・「つばを吐かないで」と何度も言うと、注意ひきとしての機能をもつようになってしまうことも

【感覚刺激】

- ・吐いたつばを見る
- ・万華鏡などの視覚的なおもちゃが、同じ感覚入力の役目を果たすこともある。
- ・舌や口の動きの感覚が刺激されているのであれば、キャンディーが代わりになる



7. もう少しお子さんについてのアセスメント

強化子を考えるためのアセスメント

7-1. お子さんの好きなものは何ですか？（遊び、キャラクター、先生とのかかわり）

7-2. 休み時間や暇なときに、どんなことをして過ごしていますか？

7-3. どんなコミュニケーション手段が伝わりやすいですか？（言葉、文字カード、絵カード、写真等）



8. 行動についてのアセスメント

お子さんの行動の意味を推測する（ABC分析・三項随伴性）

8-1. 望ましくない行動が起こる前の直前の行動（先行子）

この先行子进行操作することで
行動が起こりにくくなることもあります

8-2. 望ましくない行動を記入します

8-3. 望ましくない行動の後、お子さんが得たものはありますか？

要求…ほしいものが手に入った
逃避…やりたくない課題などを避けることができた
自己刺激…好きな感覚を楽しむことができた
注目…先生の気をひいたり、かかわりを得ることができた



9. その行動の代わりに、どんな行動ができるようになってほしいですか？

標的行動の選定

<例えば…>

【要求】「ちょうだい」と先生に伝える

【注目】「先生」と呼ぶ。退屈なときには、〇〇で遊ぶ。

【回避】（課題の難易度を下げて）「ひとつだけ取り組む」
（動機づけの高い課題を考え）「課題に取り組む」

【自己刺激】「教師からの誘いで遊ぶ」「許容できるアイテムで感覚遊びをする」



望ましい行動
って何だろう？

思い浮かばない場合は
周囲の先生にも
意見を聞いてみましょう！

ポイント

- ① その行動ができるスキルがありますか？
- ② 具体的な目標となるように（場面、場所、時間、どれくらいの支援で…etc.）
- ③ その目標は高すぎませんか？
- ④ 習得したスキルが他の何かにつながったり、般化したりしそうですか？

ポイント

代替行動分化強化（DRA）

- ・望ましい行動の頻度を増やし、望ましくない行動の頻度を減らすために用いられる技法。
- ・望ましい行動は、それが生起するたびに強化する。その結果、将来、その行動が生起する可能性が高くなる。
- ・同時に、望ましくない行動は強化しない。その結果、将来、その行動が生起する可能性が低くなる。
- ・DRAは、望ましい行動の強化と望ましくない行動の消去を組み合わせたものである。

非両立行動分化強化（DRI）

- ・問題行動と物理的に両立しない行動。
- ・問題行動が手で自分の頭を叩く行動であれば、おもちゃで遊ぶことや道具を操作する課題を行う。（非両立行動）

機能的コミュニケーション訓練（functional communication）

- ・コミュニケーション行動によって問題行動と同じ強化事態がもたらされるとしたら、問題行動を起こす理由がなくなる。
- ・注目によって強化されている問題行動を示す人には、注目を得るための方法を学習する。
→（「先生！」と呼ぶ、課題ができたよカードを見せる等）
- ・特定の場面からの逃避によって強化されている場合は、その場면을中断する方法を学習する。
→（「終わりました」と伝える、「ヘルプ！」カードを見せる等）
- * この場合、強化されるコミュニケーション行動は問題行動よりも効率的でなければならない。
- * コミュニケーション行動の方が効率的であれば、問題行動を行う必要がなくなる。



1. 標的行動を増やすために、代替行動分化強化が適応できそうですか？
2. 問題行動と同時にできない行動を考えることができますか？（非両立行動分化強化）
3. 問題行動を減らすためのコミュニケーション手段がありそうですか？（機能的コミュニケーション訓練）
 - 言葉で表現できそう（教師が復唱を促すのもよい）
 - 絵カードや写真カードで伝えることができそう
 - 身振りやサインを教えれば伝えられそう

ポイント

応用行動分析で特別支援教育が変わる
山本淳一（図書文化社）

モデリング （スキルの手本を見せる）

- ・なぜその行動が適切なのか、ポイントを伝える
- ・友だちに見本をみせてもらってもよい。

他行動の分化強化（DRO）

自己刺激は、することがないと増える

- ・誤った行動をとらないことを学習するだけでなく、どのように行動すればよいかも学ぶ必要がある
- ・適切な表出方法や伝達方法を教えないでは、問題の解決にはならない

行動リハーサル （実際にロールプレイ）

- ・練習の際には、子どものタイプによって適切なフォローを
- ・いくつかの言い方や行動を選択肢として与える
- ・行動レパートリーが少ない→モデルパターンの教示

インストラクション （言語的・視覚的教示）

- ・取組み目標と内容を伝える。
- ・目的意識と取組みの流れの理解，見通しをもたせる

自閉症スペクトラムへのABA入門
シーラ・リッチマン/井上雅彦（東京書籍）

言葉の理解 要求としての指さし

- ・ASD児にとって最も獲得しやすいコミュニケーション・スキル
- ①好きな食べ物やおもちゃを届きそうで届かないところへ
- ②「何がほしいの？」
- ③指差しができるように，子どもの腕を身体的にプロンプト
- ④子どもが指差ししたら，強化子としてすぐに渡す
- * 何か欲しがった時には，できるだけ練習場面を。
- * 要求する人や場面を徐々に増やすと，スキルの般化に役立つ



10. 望ましい行動を引き出すために、どのような工夫が考えられますか？

支援方略の検討

10-1. 教材の工夫（おもしろそうな教材，できた！感を高める教材，自分で操作できるような教材）

10-2. 環境の工夫（構造化…物理的な環境やスケジュール）

10-3. 先生のかかわり

10-4. 強化子，動機づけを高めるための工夫

<見通しがもちづらい場合>

- ・長い時間や活動を見通せない場合は，課題を短くし（モジュール化）そのたびに強化子が得られるという方法もあります。

<物理的構造化>

- ・パーティションなどで，どこで行うのかが分かる工夫
- ・刺激を減らし，注意がそれることを防ぐ工夫

<時間の構造化>

- ・スケジュールなどで，活動の見通しを伝える工夫
- ・文字，絵，写真，具体物…どれが一番，伝わりやすいと思いますか？

<いろいろなスケジュールのアイデア>

- ・活動が終わったら，文字カード等をホワイトボードから撤去する。
- ・カードをひっくり返す（輪ゴム等で「くるん」とひっくり返す等）
- ・カードを先生に渡したり，箱（フィニッシュボックス）に入れる
- ・文字を消す，チェックを入れる，終わりのマークを貼る等
- ・その時間に行う課題の順番は問わない場合は，課題のカードを自己選択するようにし，終わったらフィニッシュボックスに入れる

応用行動分析で特別支援教育が変わる
山本淳一（図書文化社）

ポイント

モデリング （スキルの手本を見せる）

- ・なぜその行動が適切なのか，ポイントを伝える
- ・友だちに見本をみせてもらってもよい。

インストラクション （言語的・視覚的教示）

- ・取組み目標と内容を伝える。
- ・目的意識と取組みの流れの理解，見通しをもたせる



11. 望ましい行動ができたとき、どのような対応をしますか？



11-1. 強化子の提示の工夫

- ・活動が終わったら、「これができるよ」「すごく褒められるよ」というような、「いいことがあるよ」という強化子を提示する方法もあります。

思い浮かぶ強化子が何かありますか？



フィードバック

(取組みの振り返り、よかった点を褒める)

- ・具体的な言葉でほめる。
 - ・ご褒美シールやスタンプもひとつの方法
 - ・お手本となる発表を最後に見せるのも効果的

応用行動分析で特別支援教育が変わる
山本淳一（図書文化社）



12. 望ましくない行動が起きにくい工夫はありますか？（予防的な観点）



お子さんの「望ましくない行動」には、先生の授業やかかわりが、関係していると思いますか？

ポイント



環境の設定での工夫
（注意が逸れない環境、あらかじめルールを決めるetc.）

ポイント

嫌悪的ではないアプローチとは？

ポジティブ・ルール（強化刺激が得られる条件を明示）

- ・「もし～できれば、…できる」
 - ・「この問題を5分で終わったら花マルもらえる。」
 - ・「宿題が終わったら、日曜日に遊園地に行こう」
- 行動する前に、子どもが十分に理解できる形で与える

- ルールを子どもと決めると、守る割合が増える。
 - 目に見える形で常に参照できるようにすると、継続的な指示理解が可能になる。
- 教師と子どもの双方がルールを尊重するという意味も



13. それでも望ましくない行動が起きてしまったら、どのような対応をしますか？

ポイント

不適応行動への対応（自己刺激）

行動遮断法

自閉症スペクトラムへのABA入門
シーラ・リッチマン/井上雅彦（東京書籍）

- ・行動を遮断するときは…
 - できるだけさりげなく、優しく、しかし遮断効果があるように子どもに触る
- ・何かを叩き続ける場合
 - 大人の手を子どもの手に重ねる
- ・体を揺らす場合
 - 肩に手を置く
- ・言葉による自己刺激
 - 簡単な言葉を真似させる
 - ゆっくとそれを要求や社会的な質問のような複雑なものへと進歩させる
 - * 一旦遮断されたなら、それがまたすぐに始まらないように新たに、もっとふさわしい行動を代わりに作らないといけない

不適応行動への対応（自己刺激）

他の活動への誘いかけ

- ・手をひらひらさせることが遮断されているとき
 - 塗り絵に誘う
- ・体揺らしを遮断
 - 歩いたり、走ったり、踊ったり
- * 不適切な行動と同時にできない適切な行動を教える
- * 誘いかける指示は素早く、冷静に出す
- * 誘いかける活動は、子どもにとって楽しみとなるもの

ネガティブ・ルール



応用行動分析で特別支援教育が変わる
山本淳一（図書文化社）

- ・「宿題が終わらなきゃ、遠足連れて行かないよ」
- ・強化刺激を除去することになる。
- ・「やらなかったら、嫌な経験がある」ということを示唆
- 強い不安・緊張・情動・興奮などを生み出す

「適切な行動は何なのか」

「どのような行動をしたら、強化が得られるのか」

→指示や示唆が含まれていないため、不安やいらだちを与える。



まとめましょう！
(次の授業や支援で取り組むこと)

目標は、時間や達成度合いなど具体的にするといいです。
欲張らず、子どもが達成しやすい目標だと
(お互いに) 達成感が！



<お子さんの行動目標>



<先生が取り組むこと> *事前の準備, かかわり, 強化子など



<望ましい行動ができたときの対応> *かかわり, 強化子など



<できなかったときの対応, 困った行動が起こったときの対応>



- お子さんにとって、嫌悪的な支援方略になっていませんか？
- 「無視する」という手続きは、「注目」の機能のときのみの手続きです。
つまり、「自己刺激」や「逃避」の機能では、「無視」しても、行動は変わりません。

般化
(日常生活の中に行動が定着)

- ・家庭生活でも試してもらって、スキルの定着を
- ・家庭でできるようになったスキルは学校でも取り入れる
- ・できるようになったら、褒め言葉等で強化を入れる

QOL (生活の質) の視点

その行動ができるようになったら、その先のどんなことにつながりそうですか？

お子さんの今や近い将来の生活環境を考えたときに、どんなことにつながりそうですか？

学校以外の生活場面で、どのような般化がみられると良いと思いますか？





支援の記録をしておきましょう

平成 年 月 日
記録者：

<お子さんの行動目標>

<評価> バッチリできた！ ・ おおよそできた ・ 先生の支援があれば ・ 全然できなかった

「おおよそできた」→さらにできるように次の支援を考えたり、同様の支援を行って様子を見たり、何が原因で完璧にできなかったかを検証するとよいと思います。

「先生の支援があれば」→どんな支援があればできたのかを記録。
(身体ガイダンス、言葉による教示、視覚的な教示、モデリング等)

「全然できなかった」→できなかった要因を振り返りましょう。
(お子さんの心理的な不安定さ、課題の理解、お子さんに合わない支援だった、課題設定が高かった、サポートがとれなかった等)

支援の度合い… ①身体ガイダンス ②言葉による教示 ③視覚的な教示 ④モデリング ⑤その他

おつかれさまでした

PDCAサイクル



目標達成!



目標未達...

<どんな支援によって達成されたと思いますか> <なぜ達成されなかったと思いますか>

<次回の目標>

<次回の支援で改善することはありますか？>

